

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年6月23日朝刊



三島名物に

トウモロコシ名乗り

JAFふじ伊豆三島函南地区本部は、三島市の高地で生産されるトウモロコシのブランド化を進めている。強い甘みと多彩な品種が特長の「みしまとうもろこし」として売り出し、6月上旬から毎週土曜に開く朝取れ販売会では住民らが長蛇の列を作る人気ぶり。生産者は「新たな特産品にしたい」と意気込んでいる。

甘み十分、豊富な品種で人気

販売会に並べられる朝取れの「みしまとうもろこし」＝三島市佐野

みしまとうもろこしはゴールドラッシュ、甘ん娘など5品種をそろえ、粒の色もゴールド、バイカラー、ホワイトとさまざま。他産地よりも豊富な品種を生産することで消費者のニーズに応じ、食べ比べなどの楽しみも提供する。6月上旬から同JAよりせいづら佐野(同市佐野)

夜に糖分を蓄えるトウモロコシは寒暖差で甘さが増し、標高数百メートルの箱根西麓は生育に最適な環境。これまで鳥獣被害により地元での栽培は敬遠されてきたが、昨年からはJAの指導に基づく対策をしながら生産が始まった。初の収穫後に開いた販売会は大勢の市民らでにぎわい、2年目となる今年も計5軒の農家が生産に乗り出した。

で開いている朝取れの販売会では異なる品種のトウモロコシが売り出され、大勢の住民らが思い思いに選んでいる。ながら買い求めていた。

同市川原ヶ谷で生産する前島弘和さん(38)は「甘さは十分で、市場やスーパーの評価も高い。新しい三島の名物にしたい」と力を込める。

販売会は7月23日まで毎週土曜の午前10時から、同プラザで開かれる予定。
(三島支局・金野真仁)

①()にあてはまる写真の野菜を書きましょう。

三島名物に()名乗り

②三島がこの野菜の生産に適している理由を書きましょう。

③消費者にとっての楽しみを書きましょう。

年 組 名前

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年6月23日朝刊



三島名物に トウモロコシ名乗り

JAFふじ伊豆三島函南地区本部は、三島の高地で生産されるトウモロコシのブランド化を進めている。強い甘みと多彩な品種が特長の「みしまとうもろこし」として売り出し、6月上旬から毎週土曜に開く朝取れ販売会では住民らが長蛇の列を作る人気ぶり。生産者は「新たな特産品にしたい」と意気込んでいる。

甘み十分、豊富な品種で人気

販売会に並べられる朝取れの「みしまとうもろこし」＝三島市佐野

夜に糖分を蓄えるトウモロコシは寒暖差で甘さが増し、標高数百メートルの箱根西麓は生育に最適な環境だから。これまで鳥獣被害により地元での栽培は敬遠されてきたが、昨年からはJAの指導に基づき対策を施しながら生産が始まった。初の収穫後に開いた販売会は大勢の市民らでにぎわい、2年目となる今年は計5軒の農家が生産に乗り出した。

みしまとうもろこしはゴールドラッシュ、甘ん娘など5品種をそろえ、粒の色もゴールド、バイカラー、ホワイトとさまざま。他産地よりも豊富な品種を生産することで消費者のニーズに応じ、食べ比べなどの楽しみも提供する。6月上旬から同JAよりそいづラザ佐野（同市佐野）で開いている朝取れの販売会では異なる品種のトウモロコシが売り出され、大勢の住民らが思い思いに選ぶながら買い求めている。

同市川原ヶ谷で生産する前島弘和さん(38)は「甘さは十分で、市場やスーパーの評価も高い。新しい三島の名物にしたい」と力を込める。

販売会は7月23日まで毎週土曜の午前10時から、同プラザで開かれる予定。
(三島支局・金野真仁)

①()にあてはまる写真の野菜を書きましょう。

三島名物に(**トウモロコシ**)名乗り

②三島がこの野菜の生産に適している理由を書きましょう。

夜に糖分を蓄えるトウモロコシは寒暖差で甘さが増し、標高数百メートルの箱根西麓は生育に最適な環境だから。

③消費者にとっての楽しみを書きましょう。

全部で5品種あり、粒の色もさまざまなので、食べ比べができること。

年 組 名前